

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立泉中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒921-8036
金沢市弥生1丁目26番1号

E-mail : izumi-j@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/izumi-j/

児童生徒数：男子 227名 女子 199名 合計 426名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、総合的な学習の時間（以下IT）を中心に学習を進めている。ITは3年間で6期に分け、各学習テーマにしたがって、継続的・計画的に実施している。中でも体験学習や探究活動を積極的に取り入れ、自然環境や社会との「関わり」「つながり」を重視し、持続発展可能な社会の担い手の育成を目指している。

ア I期 自然とともに

校外学習として、自然体験学習として「いしかわ動物園」を訪問し、環境やエコ活動について考える機会を設けた。その後、現代の自然環境について「水」「エネルギー」「ゴミ」「食べ物」の4つのテーマ別に分かれ、自分の課題を設定した。この課題解決に向け、校外学習として関連施設を訪問し、施設等の見学、職員へのインタビューを行った。生徒は環境に関する問題解決に向けた実際の取組やその方向性を深く理解することができた。学習の成果は、パネルにまとめて文化祭で展示した。

イ II期 金沢を知ろう

1年では、「金沢を知ろう」のテーマで、《よりよい金沢》を語るように、「まちなみ・歴史」「伝統芸能」「伝統工芸」「食文化」の4つのテーマで調べ学習を行った。「まちなみ・歴史」については、観光ガイド“まいどさん”から金沢のまちなみ、用水、3文豪などについて、前田土佐守家資料館館長から前田家に関する歴史についてそれぞれ話をお聞きし、金沢についての理解を深めた。「伝統芸能」については、「加賀鳶」「素囃子」を体験・見学し、それぞれの芸能についての理解を深めることができた。

2年では、伝統工芸体験を取り入れた市内班別自主研修を行った。生徒自らテーマに沿った課題解決のための見学地を決定し、班ごとに協力して計画を立て、インタビューや見学を実施した。この研修の成果をスライドにまとめ、発表会を行った。これにより金沢の文化的景観や伝統工芸などを知ることができ、金沢の再発見につながった。

ウ III期 人とともに

キャリア体験の事前学習として社会で活躍する職業人を招いての講演会を行い、地域密着型や世界で幅広く活躍する職業人の考えに触れることで、職業観や勤労観を高めた。キャリア体験当日はとまどいながらも、地域で働く人々とふれあい、地域社会の営みについて知ることができた。また、自分の進路を考える上でよい機会となった。学習成果はレポートを作成し冊子にまとめた。文化祭ではレポート展示とスライドでの発表会を行った。

エ IV期 日本を知ろう

2年では金沢の文化的景観や環境保全政策について学ぶとともに、視野を広げ、日本の伝統を色濃く残す京都について学習した。そして、修学旅行での見学候補地の調査を行った。また、金沢との比較という観点から、京都で、特に調査・見学するテーマを設定し、それをもとに京都班別自主研修のモデルプランを作成した。複雑なルート設定やバス時刻の確認など、よりよい計画立案のためのスキルを身につけることができた。

